

質問
日本海で発生が予想される津波について、県と国が発表した数値の違いをどのように

防災ハザードマップについて

吉川 慶一
議員

市長答弁
ハザードマップの見直しは、平成28年度を予定している。避難対策については、地区ごとに避難場所・避難経路を検討していくだけで、津波避難ビルの指定等も進めていく。また、市民への周知は、これまでの避難計画に修正が必要。



津波ハザードマップ

公共施設の更新計画について

質問

建設されてから30年以上経過している公共施設の更新計画と、財源確保をどのように進めしていくのか。現在の箱型施設を維持し続けていくことは、結果を先送りしてしまい、次の世代の大きな負担になると思うが、市の考えは。

《その他質問項目》

- 市内でのレジオネラ症の発症について

市長答弁
平成27年度に公共施設等総合管理計画を策定すべく、基礎調査を開始している。

化計画を進めているが、当市の施策はどうか。

権現荘について

質問

市直営施設として、権現荘の地域貢献度、これまでの民間宿泊施設との連携についてはどうか。

市長答弁
食材等の仕入れのほか、雇用や交流人口増加により地域貢献しているものと考えており、民間宿泊施設とは、樋口温泉郷と宿泊プランや料理プランを共有し、広告宣伝などで連携を図っている。

経営戦略については、リニューアル基本計画に基づいた経営を実施する中で、利用者

保坂 悟
議員

間の経営戦略について、経営スタイルを決めるための市場調査と経営戦略の作成はどのように行い、市直営宿泊施設として、どのような成果を目指すのか。

満足度の向上と利用者の増加により、これまで以上に地域に貢献できる、地域の核となる施設を目指し、バリアフリー・レストランなど、今回のリニューアルで向上する機能を生かした企画を検討しており、収益を上げ、円滑に指定管理に移行できるよう進めていく。

鉄道会社と協力した勘光振興と地域づくりについて

質問

地域づくりのための無人駅

の活用について、駅を小さなカフェや雑貨店、産直ミニ市場、ミニ展示場にするなど、地域のコミュニティの場にし、また、地域おこしとして駅舎自体を特徴ある観光スポットに作り替えるのはどうか。

また、ジオステーションジオパルは、男の子にとって魅力的な施設になるが、さらに女の子向けの企画も入れて、季節に関係なく冬でも遊びや学びができる、子どもにとって楽しい駅を目指してはどうか。

市長答弁
駅の利活用は、地域、鉄道

事業者、行政が一体となつて取り組むことが重要であると捉えている。

糸魚川ジオステーションジオパルについては、プレーリー、ローラースライダーなど、男女を問わず、子どもが楽しく過ごせる体験施設を目指している。

《その他質問項目》

- 子どもの教育環境整備について

- 早急に取り組むべき課題について